

当事務所の年内業務は12/25(木)まで、仕事始めは1/5(月)です。本年中のご愛顧に心から感謝いたします。厳しい世情ですが、来年が皆様にとって良いお年でありますように！



「いきなり解散」「首相自己チュー解散」「大義なき自爆解散」「今ならまだ勝てる解散」…と11月はさながら新聞・週刊誌の見出し合戦の様相を呈していました。

「懸命に生きている人を演じるには自らも懸命に生きなければダメだ」とは、先日83才で亡くなった高倉健の残した言葉だそうです。「消費増税はいや」との庶民の気持ちを逆手に取って税率引き上げの先送り「国民

「会社を譲り受けて建設業の許可を取り公共工事の入札参加資格を…と考えているが、新規に会社を設立した方が助成金の活用で費用が安くて済むのでは…？」との相談をA氏から受けました。厚労省が出している「雇用関係助成金

のご案内」という200ページの冊子には25種類もの助成金が掲載されています。A氏の希望に該当する助成金として「地域雇用開発助成金」に「地域雇用開発奨励金」がありますが、大分市と別府市は対

「いきなり解散」「首相自己チュー解散」「大義なき自爆解散」

解散で立ち消えたが…赤字の企業にも新課税!?

の信を問う」と首相は当初解散の意義を強調していたところ、いつの間にか「アベノミクスの是非を問う」に変わってしまいました！ 1ドル=118円という円安で、輸入する原材料は高騰し地方の中小企業は

厳しい経営環境に追い込まれています。法人税の減税

の穴埋めとして赤字の零細企業にも外形標準課税の網を掛けるというやり方は、地域の雇用を守り懸命に経営を続ける事業者に対する権力者の懸命な政治姿勢になるのでしょうか…。



象外。雇用機会が特に不足している地域ではない…という理由です。他には県の「経営力強化支援事業」に「建設業者のための新分野進出・合併補助金」がありますが、これも不該当。

創業支援旗は沢山たな引くの助成金旗は沢山けれど…!

「大分市産業活性化プラザ」という創業支援窓口を利用した「創業補助金」は2～6月が

受付期間で今年は終了したとの事。旗は沢山立っていますが、いざという時に本当に役に立つ旗はなかなか…。



当事務所では毎週金曜日の朝9時～10時に、ミティツグを行います。ご協力をお願いします。当事務所のFAX(0977-24-1806)は、日曜・祝日を除く朝6時半～夜8時受信可能です。